

2. 模型を使ったワークショップの結果から組み立てる段階的建て替え手法の提案

模型を使ったワークショップの結果、全ての敷地を一体にして大規模に建て替えるのではなく、住民が住み続けながら、個別の敷地を段階的に再建設していく方法を提案します。

■地権者の意向



- | | |
|---|---|
| 住民1(飲食店+住居)
建て替え意向：あり
欲しい機能：医療施設、店舗 | 住民5(飲食店+住居)
建て替え意向：悩んでいる
欲しい機能：集会所 他 |
| 住民2(空き家)
建て替え意向：悩んでいる
欲しい機能：悩んでいる | 住民6(駐車場)
建て替え意向：周辺住民に任せ
欲しい機能：周辺住民に任せ |
| 住民3(飲食店+住居)
建て替え意向：悩んでいる | 住民7(保育施設、店舗+住居)
建て替え意向：悩んでいる
欲しい機能：保育施設 他 |
| 住民4(飲食店+住居)
建て替え意向：あり
欲しい機能：銭湯、テナント | |

一階目

住民4の敷地で建て替えている間に住民1の住宅を半分取壊し、あとの敷地に建て替え用の権利者が住居するための仮設住宅を建設します。

二階目

住民4の建て替えが完了したら、住民1の敷地の建て替えを始める。オープンスペースの一部を仮設住宅とし、建て替えを行っている住民が住めるようになります。

建て替えている場所で商業していた者は、建て替えが完了した建物にテナントとして店を出します。

三階目

建て替えが完了し、オープンスペースを整備し、遊歩道を兼ねたデッキを敷きます。仮設店舗はなくなり、本館の建物が整備されるようになります。松川橋を中心とした新しい街区が整備されます。



松川橋再建設案書

2. 模型を使ったワークショップの結果から組み立てる段階的建て替え手法の提案

住み続けて再建を進める方法



第1フェーズ②
現場で何が出来るか
再スタート

2011.7.10
松川横丁再建勉強会⑥
川開き祭りに向けた企画会議



人が集まる場所を自分たちでつくる

2011.7.31-8.1
松川横丁ちびマルシェ
子ども夏祭り広場



第2フェーズ①
震災後半年以降、
周辺を含む街区計画案

2011.9.12
松川横丁勉強会

■9月以降、11月まで
→横丁から街区に広げた検討



夏以降のワークショップでの
意見をもとにした「たたき台」



Proposal plan, scale: 1/500
提案平面 (作成: 東島工業大学高野研究室)



周辺街区との関係から
計画イメージを考える

松川横丁を中心とした
中央2丁目6,7,8番地区
地区計画+街なみ環境整備事業等の活用
水路の復元+広場・緑地ネットワーク
小市場(マルシェ)の開設
新規事業者、NPO等の集積誘導
既存建物活用による避難ビル・経路確保
小規模共同化等による住宅・居住環境整備

S:1/2,500



■コミュニティの再生活動
おちゃっこまちあるき/もちつき大会
(11月12日、12月11日)



第2フェーズ②
震災後1年
突破口が見いだせない
事業と街区計画

松川横丁再建勉強会 2012.3.1



様々な空間像を縫い合わせる街区計画の検討



2つの老舗のプライドと覚悟
既存建物の修復により再建した八幡家と滝川





2016.12.23 滝川
川沿いの被災蔵を移築し、別館として再生
設計：ココロエー級建築士事務所（岡山）



第3フェーズ①
街で暮らしたい人を探す
滞在ボランティアと考える
住まいづくり
→100名を超える移住者

2012.6.28
シェアハウスワークショップ

OUR SERVICE

入居希望の方と大家さんのマッチング事業
空き家の広告と、入居希望の方の募集
石巻での相談・窓口
石巻で新しいことにチャレンジしてみたい方のご希望を、
大家さんと相談しながら調整し、
契約にいたるまでのコミュニケーションをサポートします。

空き家活用サポート
設計/改修に関するサポート
建築家とのネットワークや石巻工房を利用して、
被災した建築物をDIYで使えるように改修し、
空き部屋をリノベーションして、新しい使い方を提案する。

**若手のデザイナー、建築家による
石巻のクリエイティブチーム**

巻組

デザイナー 安達日向子 母親が石巻出身 の学生時代に石巻	プランナー 遠藤幸子 学生時代に石巻に旅行 そのときから	建築 遠藤賢典 新卒で石巻に就職 地元で土木系職人

DIY 自分たちで作るといって、まちに住むということ

石巻の中心市街地にある商店街の歴史は古く、昔はとて賑わっていましたが、今や元気がなくなっている地方都市の一つ。しかし、震災以降、多くのボランティアが来て、街に若者が増えました。その中で、今までは違ったライフスタイルが生まれようとしています。

「住む場所がないから作ってしまえばいい」とにかく手を動かすということ。手探りで試行錯誤しながら手作りで進めていくということ。生活のために必要なものを作ることはそんなに難しいことはありません。その延長線上にまちづくりがあればいい。そんな空気感から、私たちは今日も自分たちの街を作っています。

高橋園シェアハウス
コンクリート造3階+木造2階
2居室(11㎡/1室)
高年ビルディング(27㎡)
風呂、トイレ

立寄商店街にあるお茶屋さんの2階に作ったシェアハウス。築80年のコンクリート造の建物に2人分の居室と木造部分に共有リノベーションが施されています。作ったのは1人の大工さんと、地元大学生の学生時代に余剰のある若者達です。

私たちと一緒にDIYしませんか？楽しいですよ！

大工さんも募集中です。近所を、まちを一緒につくりましょう！

■中心市街地の課題

- 1) 土地・建物所有者の意向だけではまちづくりは進まないこと
まず財産保全が第一の目標になってしまう
不確定な要素が多く、意向は常に揺れ動く
高齢権利者が多く、次の担い手が見えない
- 2) 新たな事業主体、住まい手、出店者等をどのように育てていくか
- 3) 再開発事業など、周辺の大規模な計画との関係
堤防、道路など大きなスケールの計画に影響される
復興公営住宅、公益施設、駐車場等に埋め尽くされる街

石巻2.0不動産：シェアハウス開設や移住者のリノベーションを支援

■COMICHI石巻のプログラム構築と戦略

1) 2012年に行った、リサーチとワークショップで得られた住宅と店舗のニーズをフィードバックしたプログラムとすること

震災当初、復興支援ボランティアとして来街した若者達が次のステップとして地域で新たな仕事を見つけ、住み続けるための住宅と、震災後事業を再開し仮店舗を構える商店主・事業主達のセカンドステップとなり、本格的な設備投資を行える店舗の2つが浮かび上がった。

2) 2013年夏の時点で、中心街に形成されつつあった機能とリンクし、エリアとしての価値を高めるプログラムとすること

メインストリート沿道には、ISHINOMAKI2.0をはじめとする組織や個人によって、既存建物の改修によるコワーキングオフィス等が集積し、老舗店舗の現地建物の復旧が行われていたが、双方とも住居機能に関しては不十分なものであった。

→このようなオフィスで働く人々と、商店主の住宅を機能の中心に据える
また、被災した地域住民に対する災害公営住宅や分譲マンションが今後、このエリアに供給されることが予測された中で、**2つのタイプ以外で選択の幅を広げることが可能な住宅を組み込む**



第3フェーズ②事業を組み立てる
2013年度～
松川横丁店舗・住宅共同再建プロジェクト
4人の地権者と出店・入居希望者による共同事業

■石巻中央地区のエリアマネジメント

主語のない「べき」社会像・空間像ではなく
主体が見える動きや場所をひとつずつ起こす

動きや場所の集まった空間の質と持続性を高める

多様な個人・組織のさまざまな実践を総体的に捉え
地域の流れと次の時間に向かう展開を考える

それが地域の持続可能性を高めることにつながる



2015.4.25
橋通りCOMMON オープン



COMMON (コモン)とは?
通り・空き地の使い方や事業を育てる場所に

2016.11.3 大衆酒場スイスイ
橋通りCOMMONから独立し、開業



2016~
地域ネットワークのハブとなる
場所とプログラム

2016.2
カフェ+シェアオフィス
IRORI リニューアル



観光、移住、教育
ローカルベンチャー
多様性を持つHUBに



★社会に必要な事業をおこす

出る杭、作ります。

「場所づくり」
リノベーションによる
多小不動産（空き家）の活用・修繕・改装

「人材プラットフォームづくり」
インハイブ・タイプの人の
呼び込み、育成

「循環サポート」
場内と人財の循環をサポートする
クリエイティブ・サービス

コンソーシアム「ハグクミ」2016-



移住コンシェルジュ

こちら石巻 まちのコンシェルジュさんはリーガルシェパード石巻店にいます。
石巻駅すぐ近くの、高級靴で有名な靴屋さんと、でてる店主を発見（〇）
初めて石巻に来られた方も、石巻のことをお山聞かせてくれるお店、ぜひ立ち寄って高級靴と、高級靴のひまわりを見てみてください。
イベントの多い石巻の夏の風采がはじまります（〇）



2016-
まちのコンシェルジュ/移住コンシェルジュ

コロナ以降

首都圏企業と連携した
ワーケーション拠点
Living Anywhere
Commons

場所やライフライン、仕事など、あらゆる制約にしばられることなく、好きな場所でやりたいことをしながら暮らす生き方（LivingAnywhere）をともに実践することを目的としたコミュニティ



近代建築の魅力と
人々の営みから紐解く石巻。

展示会期中の楽しみかた

近代建築の楽しみかた、いろいろ！

- 900 生きつづける近代建築、失われた近代建築
2000年に日本大学工学部建築歴史学研究室により撮影された写真と、まちかどで近代建築写真展実行委員会が撮影した石巻の歴史的な近代建築の写真をご紹介します。
- 901 「霞かみ石巻のまちなか」生きつづける街
石巻のまちなかの大きな特徴である霞かみを歩くと、まちの歴史や文化の歴史を垣間見ることができます。また、現在でも保存・活用が続けられている蔵をご紹介します。
- 902 「建築をかきつづける活動」建築家さん紹介コーナー
石巻市に生まれ、石巻市での近代建築の復興活動に入った建築家さんや活動から、地域にシニアである建築家の存在活動をご紹介します。

会期中に開催されるイベントも楽しもう！

7/3	7/18	7/18
オープニング キックオフイベント 「アート」	高野洋介（東京工業大学准教授） 建築家さん紹介コーナー 「アート」	高野洋介（東京工業大学准教授） 建築家さん紹介コーナー 「アート」
10:00 - 20:00 定員 10名（予約制） 参加費 1000円	10:00 - 18:00 定員 10名（予約制） 参加費 1000円	10:00 - 18:00 定員 10名（予約制） 参加費 1000円

この展覧会が
あなただけの
発見の場

ご来館の方へ
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ご来館される際は以下事項にご協力ください。
○ご来館の際は必ずマスクを着用してください。
○来館の際は必ず手洗いや手指消毒をお願いします。
○来館の際は必ず体温測定をお願いします。
○来館の際は必ず検温をお願いします。
○来館の際は必ず検温をお願いします。

REBORN ART FESTIVAL 2021-22

ART MUSIC FOOD 巡る 知る

アーティスト

エリア

石巻市南地
文川
蛸通
飯浜
小旗
船川

キュレーター

ステートメント

お知らせ 本日9月4日(土)の「夜市」は15:00~20:00に開催します

宮城県石巻市 : Reborn Art Festival 2021-2022
https://www.reborn-art-fes.jp

2021.7.3-19 生きつづける石巻のたてもの展